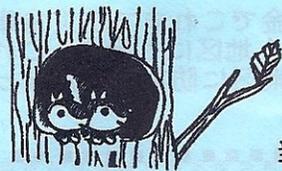


町長との地域懇談会開催



町長と地域住民が直接話し合う「地域懇談会」が昨年11月19日(水)ダイヤランドホールで行われた。

当日はあいにく冷え込みが厳しく出席者が30人程度にとどまったのは残念だった。町側から芹澤町長、森副町長以下幹部職員が出席。

芹澤町長は冒頭のあいさつの中で特に「ダイヤランド地区」に対する施策として

①高齢化対策②交通の便の確保・・・を挙げた。

続いて住民側から「防災関連」「道路行政」「地域医療」「ゴミ問題」など生活に密着した様々な問題について質問が出された。特に住民の関心が高い「漏水問題」「簡易水道と上水道」の統合問題について町側からの回答は従来の域にとどまり、踏み込んだ回答はなかった。区としては引き続き粘り強く話しあっていく考え。

冬の防災訓練

昨年12月21日(日)区民の会・自主防災会の「総合防災訓練」が250人の住民が参加して行われた。静岡県は12月の最初の日曜日を「地域防災の日」と位置付けて、自主防災組織を中心とした訓練を毎年実施しているが、ダイヤランド地区はやや時期を遅らせ、この日の実施となった。今回は特に廃油を利用した「ろうそく作り」「担架搬送」「とっさの応急手当」などに加え、発電機を使っての初めての炊飯、各地区がそれぞれ独自にテントの設営に当たる、などもり沢山の訓練メニューが用意された。

8時に訓練実施のサイレン。災害対策本部立ち上げ、9時にそれぞれ各地区の「防災倉庫」前に集合、テントの設営に取り組んだ。スムーズに設営できた地区、やや難航したところ、また、人数不足で設営できなかった地区も。成否はともかく経験が大事。その経験を今後に生かしたい。また、発電機で炊いたご飯の出来具合だが、「結構いける」というのが大方の意見だった。中でも今回特に注目を集めたのは「起震車」の登場。これは県の所有車を特別に借用したもののだが、阪神・淡路大震災級の震度7ないし8をこの車で実際に体感(時間的には6、7秒だが)してみてもその衝撃の強さには驚くばかり。

起震車を体験した人は異口同音に「怖かった」を連発。



発見!! ~ 6カ所で漏水 ~

函南町水道課がダイヤランド地区内で実施していた水道漏水の調査結果がまとまった。同水道課は昨年7月~10月にかけて10地区(駿河台・光陽台・谷下・細沢台)を中心に調査を実施した。結果は次の通り

- 1、漏水箇所…止水栓2カ所・給水管2カ所
配水管1カ所・分水管1カ所
- 2、推定漏水量は ①時間当たり 3 m³
②年間当たり 23.705 m³

町水道課は今後2年かけて残りの地区すべての調査を終えるとしている。

区民の会では調査結果に注目しておりすべての調査が完了した段階で今後の対応を考える方針。

●住民のみなさまに「漏水」が疑われる情報の提供をお願いします。

(連絡先) 管理センター Tel974-2222

新たに10カ所に掲示板

ダイヤランド地区内の10カ所に屋外掲示板が設置され、地区住民への情報の周知に役立つとして期待が集まっている。これまでダイヤランド内の掲示板はレストラン「森の里」前に1カ所あるのみで、情報を共有する上で大きな障害となっていた。

こうしたことから「区民の会」では「財団法人自治総合センターのコミュニティー助成事業」の対象として掲示板の設置を町を通じて申請していた。これが認められ掲示板の設置が実現した。

設置場所は一部を除き「ゴミステーション」脇で、例えば1地区(梅公園前No.31)2地区(向山周辺No.8)といった場所です。各地区に1カ所はあります。

掲示内容は①区で作成したもの②役場・警察・安全協会等の公共開示物③地区独自のもので、区長が了承したもの。散歩の途中にでもちよつとのぞいて見られてはいかがですか。



「区民の会」では、自主防災会・環境美化部会で補助金を町に申請していたが、このたび正式決定の通知を受けました。内容は以下の通り。

(1) 自主防災会

- ・資機材整備 404.000 円 (補助率 2 分の 1)
- ・防災倉庫 266.000 円 (同 3 分の 2)
- ・施設整備費 885.000 円 (同 10 分の 7)
- ・運営費補助 100.000 円 (全額)
- 計 1.655.000 円



(2) 環境美化部会

- ・ゴミ置場事業 160.000 円
- 計 160.000 円

◎この補助金でこれまで防災倉庫がなかった4地区にも設置、これですべての地区に防災倉庫が揃った。

防災情報メモ

●ペットの防災対策

ダイヤモンドの住民の中には「犬や猫」などのペットを飼っておられる方が少なくないようだが、地震など災害からペットをどう守るかその対策を事前にしっかり考えておく必要がある。阪神・淡路大地震の際にも多くの犬や猫が飼い主とはぐれたり、けがをしたと言われている。飼い主がすぐ分かるように迷子札を付けたり、マイクロチップを埋め込んでおくなどの備えも必要。また、つながれていたり、室内のケージに入れられていたため逃げられなかったという例も。避難先にペットを連れていけない場合、ペットを一時的に預かってくれる団体もあるのであらかじめ相談しておくのも一案。何より飼い主自身の普段の心がけが不可欠。



「できるひとが」「できるときに」「できることを」をスローガンに丹那小学校では学校支援ボランティアを募集しています。

学校支援ボランティアは地域全体で学校を支援するために文科省の委託を受け実施されるもので、保護者や地域の住民がそれぞれの持っている知識や経験、技能などを通じて学校の教育活動を支援していこう、というものです。免許や資格は問いません。

支援の対象は多岐にわたり、例えば、学習支援では、各教科の指導補助、職業講和、地域の歴史についての話など。また、教育環境支援では、図書館の整理や花壇の整備など、部活動の指導補助といった授業外学習支援も。

希望者は丹那小学校、植松校長 電話(974-0024)まで。

募集!

**学校支援
ボランティア**



おねがい
します!

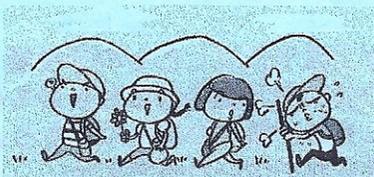
サークル紹介 歩こう会

++++ 歩こう会 +++++

会員53人(男性26人、女性27人)
ダイヤモンドのサークル中で最大規模を誇る。

年間11回(1月を除く)の例会を実施、原則として日帰りでのハイキングを楽しむ。

ただ、昨年は初めて一泊での尾瀬行き(9月)を計画、また1月には会員相互の親睦を図るため食事会を実施した。古来より歩くことの効用については論を待たないが、楽しく野山を歩けば心身ともにリフレッシュすることは請け合い。現在、新規会員を募集中。連絡先は会長の西村輝男(電話974-3536)まで



共同募金、前年以上に!!

●会報17号でお願いしました共同募金活動は、皆様のご理解とご協力をいただき、前年実績を上回ることができました。本当にありがとうございます。

加入状況は次の通りです。

	H20年	H19年
*赤い羽根募金	41件 ¥37,800	34件 ¥35,300
*歳末助け合い	96件 ¥91,600	91件 ¥86,000
*きれいな水を守る会	76件 ¥15,200	61件 ¥12,200

<報告> エコキャップ運動

ペットボトルのキャップを集めてポリオワクチンの接種に役立てよう!というエコキャップ運動について、区民の会では環境美化部会を中心に協力を呼びかけてきましたが多くの方の賛同を得て9600個、24kgを回収できました。昨年末JCV(NPO法人世界の子供にワクチンを日本委員会)に寄付しました。

エコキャップ推進協会によると400個を1kgとして計算、800個で1人分のポリオワクチンが購入でき、今回の回収分で12人の子供にワクチンが接種できることになるという。みなさんの温かい協力に感謝します。

ご協力
ありがとう!

